



第2回 CXDS 「協創サロン」

2020/11/12

一般社団法人体験設計支援コンソーシアム

体験設計協創サロンとは

現在取り組んでいるもしくはこれから取り組もうとしている、製品/システム/サービスや用途開発中の技術などについて、公開できる範囲で**話題提供**いただきます。

体験設計の視点からさまざまな立場でフリーにディスカスすることを通して、**新たな発想**にもとづき用途、取り組み方を提供/支援するとともに、**協創に結びつく機会（場）を持つ**ことを目的にしています。



DXからXDを展開する

第2回協創サロン

これからの設計 [DESIGN]

意味の探索

最新の設計 [DESIGN]

(日本機械学会)

体験設計：価値を考える
Experience Design

機能化（価値→機能）

価値概念設計

全体を俯瞰

1DCAE：機能を考える

仕様化（機能→形）

プロトタイプ（価値検証）

詳細を設計

全体適正設計

3DCAE：形を考える

結果（機能検証）

設計論に於ける体験設計の位置づけ

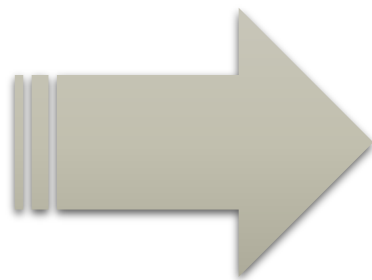
個別最適設計

※ 3DCAE = 3 Dimension Computer Added Engineering

ひと・もの・こと・そとの
ビジョンで創る

製品・システム・サービスの
イノベーションをもたらす

巧みな
体験設計

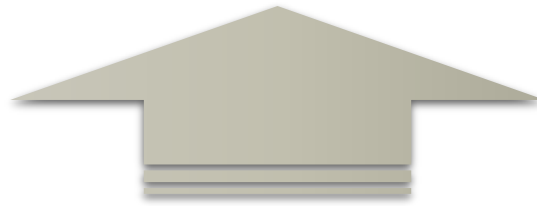


うれしい
経験価値

定義すれば？

経験価値=Experience Value

経験価値は偶発的、意図的を問わず過去の事象とその連携から得る利益



体験設計=Experience Design

体験設計は価値創造を目的に意図的に企てられた

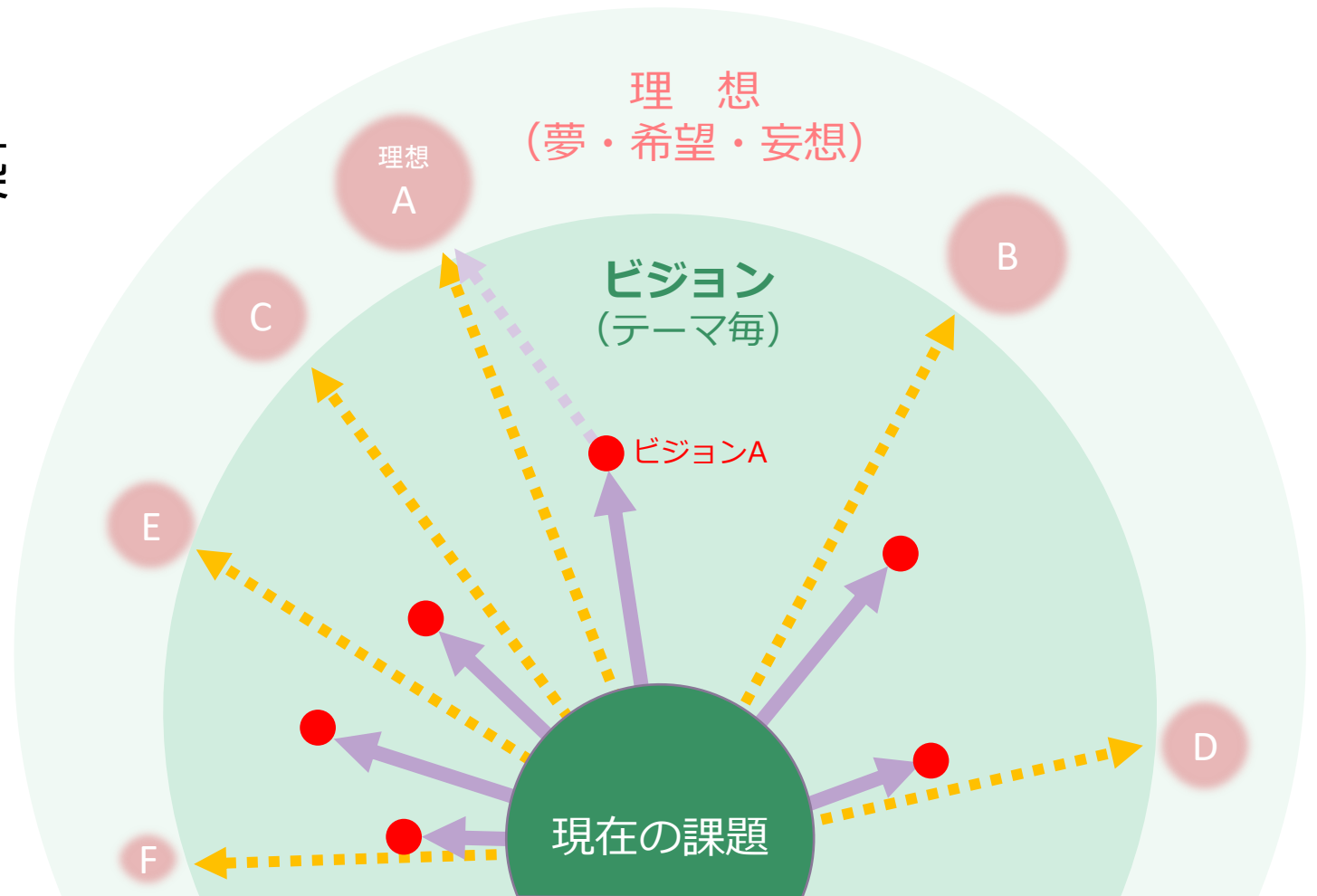
未来の事象連携を創造する行為

ビジョンとは何か

「理想に近づくための共感できる近未来へのアプローチ」

理想に対するビジョン構築

- ビジネスの方向性
- 現実的な時期
- 文化、文明への対応
- 環境、社会への対応
-



求められるビジョンのための設計は？

ICT・IoT

VR・AR

AD~~X~~bc& XD

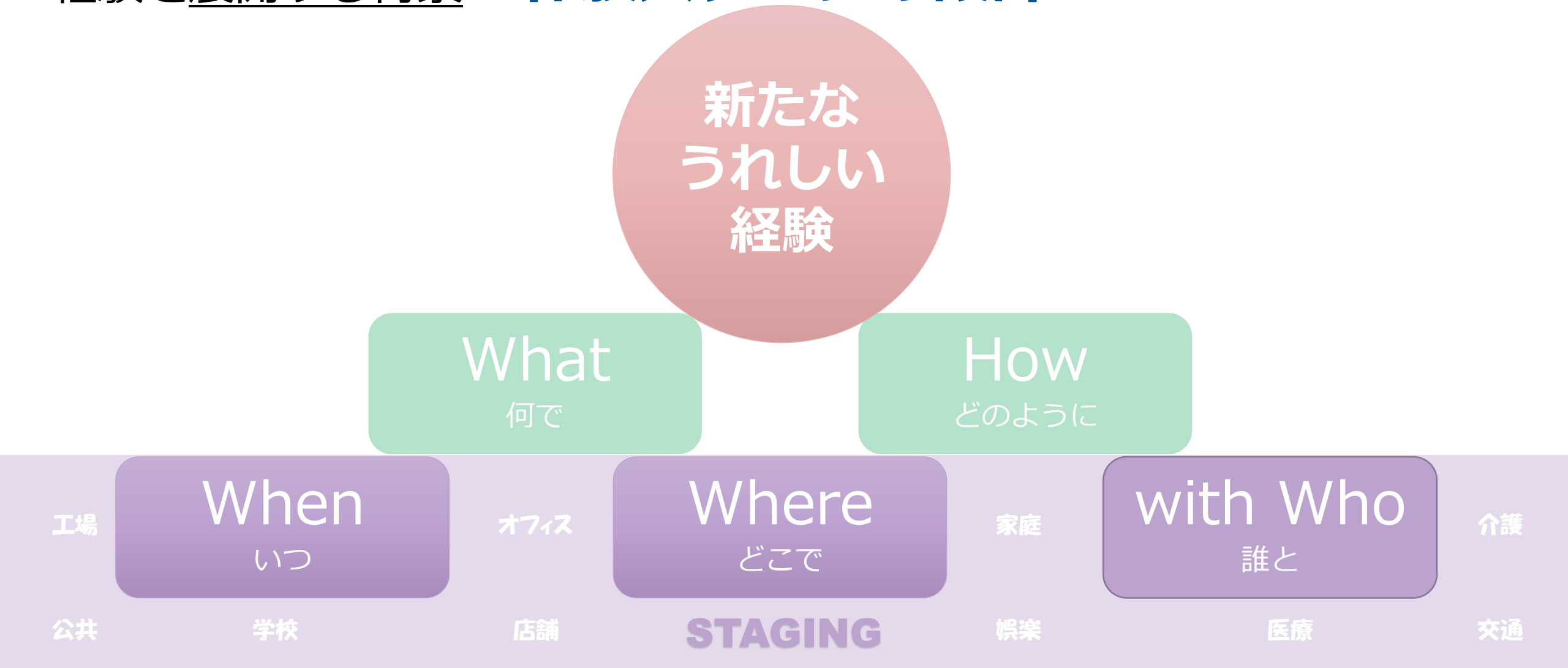
Digital Transformation & Experience Design

機能設計 と 体験設計

手段 と 目的

すなわち 意味探索

体験ステージの設計



ユーザーやステイクホルダとの共創の場

体験設計の基本的な視点とは

ユーザーへの提供価値からの発想

この〇〇が、何に使えるかよりは、この〇〇によって、「ユーザーにどのような優れた、嬉しい体験価値を提供できるか」で自由に発想する。

「今までの悲しさ、面倒くささを解消してくれるのは当たり前、
(今まではできなかった) ●●ができることによって、どんなうれしい体験ができるようになるのか」
→その結果、普段の行動や生活がどのように変わるのか

人（ユーザー特性）、場（利用状況）の視点

- ・この〇〇を利用したい人は、はどのような特性、特徴を持った人(達)か
 - ・この〇〇を利用したい人は、どのような状況の時なのか
- 「どのような人が、どのような状況の時に」使えると嬉しいのか

第2回体験設計協創サロン

- **本日のテーマ**

「ケーブルでもバッテリーでもない、全く新しい給電方式テスラシート無線給電」

- **提案者**

テスラシート株式会社

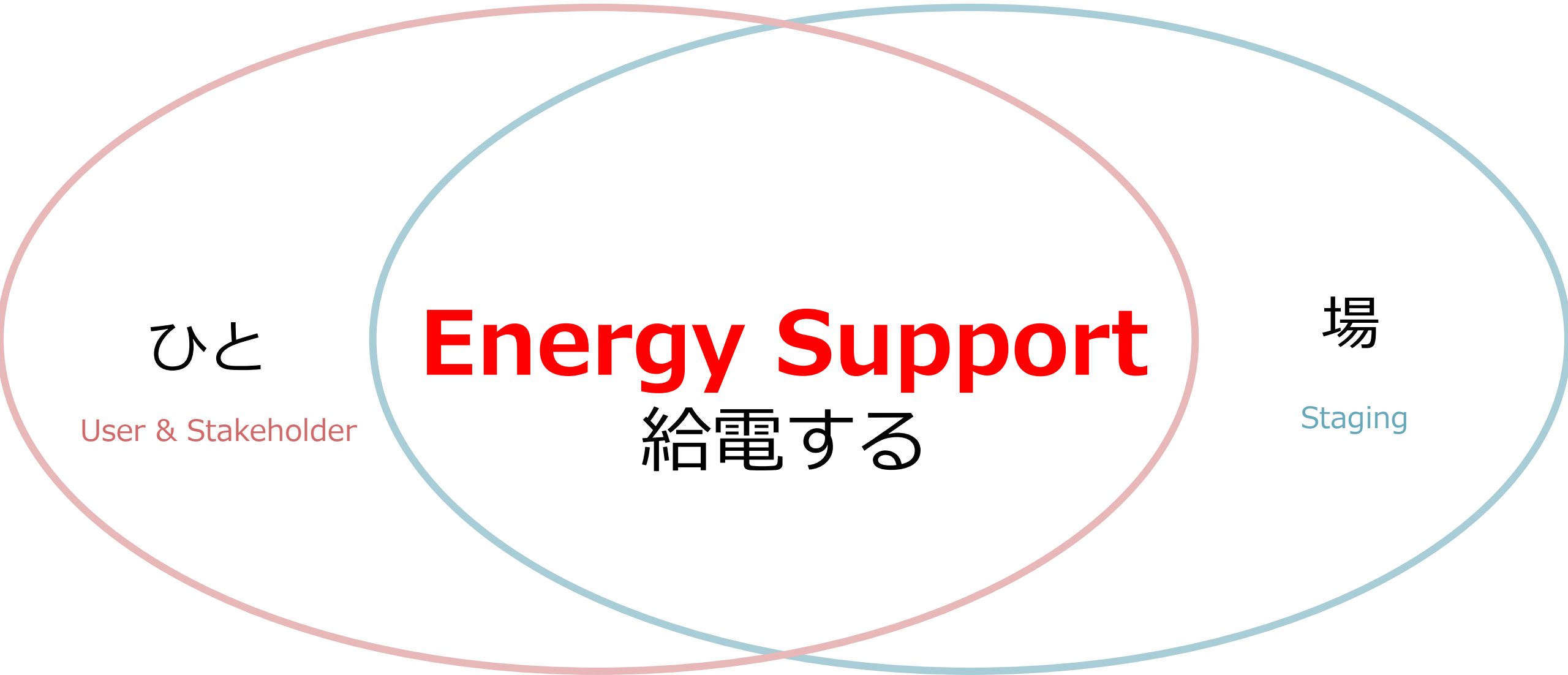
最高技術責任者（CTO） 服部 聖彦 氏（発表）

マーケティングシニアマネージャー 秋本 均 氏

- **コーディネーター**

門田 浩 氏

テーマ創りのヒント



第2回体験設計協創サロン進め方

16:10 - 16:35 テーマの説明（テスラシート 服部氏より）

16:35 - 17:15（2つのグループに分かれて）

- ・簡単な自己紹介
- ・体験設計の視点から提供価値の討議（人と場からの自由な発想）

17:15 - 17:30 各グループからの発表とまとめ

協創サロンでの話題提供をお待ちしています！

体験設計の視点からさまざまな立場でフリーにディスカス
することを通して、**新たな発想**にもとづき用途、取り組み
方を提供/支援するとともに、**協創に結びつく機会（場）を
持つ協創サロン。**

現在取り組んでいるもしくはこれから取り組もうとしている、
製品/システム/サービスや用途開発中の技術などについて、
話題提供いただけるテーマを募集中です。。

(参考) 体験設計協創サロン概要

- **参加資格**

CXDS会員 + 会員の紹介者

- **募集/告知**

CXDSホームページ、会員宛ML、メルマガ

- **参加費**

無料

- **公開**

- サロン開催後、テーマ、公開可能な資料、協業/支援内容、連絡先などを
まとめ、開催報告をホームページに掲載

に掲載する

- 必要に応じて、協創の概略進展状況はホームページに掲載

(参考) 体験設計協創サロン概要

• 話題提供内容

- 知財上、公開できる範囲とする
- 協業、支援を具体的に求める場合は、その内容を明示する
- 人材募集を主目的とした話題提供は取り上げない

• 協業の方法

- 話題提供者に対し個別に交渉する 協業進捗、結果の概略報告いただく
- 協創の結果としての知財は当事者間とする
- CXDS会員同士としての紹介もある

• 成果紹介

- 成果が公開できる場合は、積極的に体験設計認証へ申請いただく